

【基本施策5】生涯を通した読書活動の展開

施策 17 読書活動の推進

方針

家庭、地域、学校、行政などが連携し合いながら、市民の豊かな心を育む読書活動の推進を図ります。

現状と課題

読書は、言葉や知識を学び、感性を磨き、創造力やコミュニケーション力を養い、生きる力を育むものです。また、読書を通じて知識を深めること、見聞を広めることは、人生をより一層豊かにすることにつながります。

昨今、趣味の多様化やメディア機器の発達などにより、大人も子どもも読書離れや活字離れが進んでいます。市図書館においても、入館者数が年々減少している現状にあります。

市図書館では、これまで行政間の広域的な図書館連携、市内児童文学作家の活用、ビジネス支援コーナーの開設、読書手帳の配布、乳幼児健診時等にあわせて実施するブックスタート事業、読み聞かせ等のボランティアの活用など様々な取組みを行い、読書活動の推進に努めています。

今後、市図書館はもとより、家庭、地域、学校等において、市民へ読書活動を普及し、本に親しみ、読書習慣を定着させることが求められています。

読書環境の整備・充実を図り、乳幼児期から読書習慣を身につけ、継続させていくこと、そして、生涯にわたって自主的・自発的に読書する習慣を身につけることが大切です。

また、日常生活において読書に親しむことの少ない人に対して、読書を気軽に楽しめるような環境づくりも大切です。

今後の方向性

◆ ライフステージに応じた読書活動の推進

乳幼児期や小学校低学年など、比較的年齢が低い子どもたちに対しては、本との出会いの機会をつくり、本に親しみ、自ら読書をする習慣をつけるための事業を展開します。

少年期に対しては、学習を補助する調べもののツールとしての本の活用や、より活字に親しみ、図書資料から情報を得ることができる力を身につけ、本が生涯にわたって自身に役立つ物との認識が高められる事業の展開を図ります。また、それらの助けとなるよう学校図書館システムと連携した市図書館の活用を促進します。

青年期から高齢期までの年齢層に対しては、起業や創業、ビジネス関連図書をはじめ、市民一人ひとりの生活や問題解決の参考となる資料を提供するとともに、生涯学習を通じて人生を豊かに過ごすために市図書館を活用できるよう支援していきます。

[主な計画事業]

- 1 子どもたちが本に親しむ機会の充実
- 2 読書活動の発展
- 3 各種体験や講座等の実施
- 4 絵本をテーマにした読書活動の推進
- 5 学校との連携による読書活動の推進
- 6 読書手帳の活用
- 7 児童文学講演会の実施
- 8 ヤングアダルト図書の紹介

主な計画事業

1 子どもたちが本に親しむ機会の充実

乳幼児期から本が身近な存在となり、日頃から本に対する親しみを感じられるよう、読み聞かせに適した絵本の紹介やブックスタート事業、市図書館における幼児向け絵本コーナー等のさらなる充実を図ります。

また、生涯学習関連施設等において小学生も参加できるおはなし会等を通じた本に親しむ機会を提供します。

2 読書活動の発展

読書した本について、感じたことなどを文章にするなど、本について評価をつけることで、読書で得られた情報をより一層、自身の資産として蓄積していくことを推進します。

また、読書による効果や自分に合った読書方法などのアイデアや意見を市民から募り、図書館内等で発表し、読書への意欲の向上や本への愛着を通じて読書活動を発展させていきます。

3 各種体験や講座等の実施

小学生を対象にした司書体験、中高校生を対象にしたYA（ヤングアダルト）ボランティア体験を通じ、読書の推進を図ります。また、子ども向けの事業の実施に関わることのできる知識を持った市民ボランティアを育成する講座を実施します。

4 絵本をテーマにした読書活動の推進

市民が読書活動を身近に感じられるよう、子どもへの絵本の読み聞かせの実施、手作りの絵本を作成する講座の実施など、絵本をテーマにした読書活動を推進します。

5 学校との連携による読書活動の推進

学校との連携により、希望に応じて年間を通して市内各小学校に出向き、おはなしボランティアとともにお話会を実施します。また、市内小中学校での図書館システムの導入にあわせて、学校と市図書館が相互に連携して読書活動が進められるよう展開していきます。

6 読書手帳の活用

自主的・自発的に読書をする習慣を身につける一助とするため、市内の小中学生に読書手帳を配布し市内在住、在勤、在学の希望者にも読書手帳を配布し、読書習慣の確立・継続した活用を推進します。

また、読書手帳を所持し、基準の冊数以上の読書を行った方への表彰を行い、読書活動への推進を図ります。

7 児童文学講演会の実施

子どもが、作者の想いや作品に込めたメッセージを知り、興味を高めて読書をする機会をつくるため、児童文学者による「児童文学講演会」を実施します。また、保護者に対しては、「児童文学講演会」を通じて、作者の想いや児童文学の世界を知識に取り入れることで、子どもに対する読書機会の提供につなげていきます。

8 ヤングアダルト図書の紹介

中高生を対象に図書紹介や利用案内を掲載した情報紙「ヤングスクラッチ」を発行します。

計画事業の対象とするライフステージ						
主な計画事業	ライフステージ					
	乳幼児期	少年期	青年前期	青年後期	壮年期	高齢期
1 子どもたちが本に親しむ機会の充実	○	○				
2 読書活動の発展		○	○	○	○	○
3 各種体験や講座等の実施		○	○	○	○	○
4 絵本をテーマにした読書活動の推進	○	○	○	○	○	○
5 学校との連携による読書活動の推進		○				
6 読書手帳の活用	○	○	○	○	○	○
7 児童文学講演会の実施		○	○	○	○	
8 ヤングアダルト図書の紹介		○	○			

※対象とするライフステージとは、各計画事業に該当する主な年代とします。

施策 18 図書館の機能・サービスの充実

方針

市民一人ひとりの自主的・自発的な学習活動を支えられるよう、市図書館の機能・サービスの充実を図り、身近で便利に、快適に利用できる図書館環境を実現します。

現状と課題

図書館は、生涯学習の中核的拠点の一つであり、身近な情報提供拠点として、重要な役割を担っています。子どもから大人まで、誰もが読書に親しめる場であり、読書活動を推進するための施設です。

市図書館では、総合的な資料等の収集・整備・提供を実施するとともに、予約サービス、団体貸出、情報提供、レファレンス・サービス^{※1}、行政間の広域利用、館内展示など、様々なサービスを提供し、市図書館の機能・サービスの充実を図っています。

また、生涯学習センターゆとろぎと市図書館とが連携した絵本原画展、児童文学講演会の開催など、生涯学習関連施設間の連携した取組みも進めています。

今後も、市民が必要な知識や情報を、必要な時に適切に入手できるよう、市図書館の機能・サービスのさらなる充実に努めていくことが大切です。

読書の魅力や意義を市民へ伝えるとともに、年齢に応じたレファレンス・サービス、学校図書館との連携など、様々な場面での専門性をより向上させることが求められています。

また、生涯学習ニーズの高まりに合わせて、より高度で広範な学習支援も求められており、市民の幅広い知識習得のための活動を支援するなど、便利で快適に利用できる図書館環境を整備していくことも大切です。

※1 レファレンス・サービス：何らかの情報・資料を求めている図書館利用者に対して、図書館員が仲介的立場から、求められている情報・資料を提供・提示することによって援助すること。

今後の方向性

◆ 図書館の利便性向上

資料を幅広く収集するとともに、除籍などにより、常に新しい状態を保ちつつ、利用者が必要な情報を得ることができるよう図書館資料の充実を図ります。また、現行の図書館システムの更新時にあわせて、I Cタグ等の新たな図書管理システムや、自動貸出機等の機器の導入等について検討し、電算システムの充実と図書館利用者の利便性の向上を図ります。

[主な計画事業]

- 1 幅広い図書館資料の整備
- 2 図書館システムの充実
- 3 コンビニエンスストアでのリクエスト本の受取り研究

主な計画事業

1 幅広い図書館資料の整備

市民の多様な興味や関心、課題解決に役立つ図書館資料の充実を図ります。また、その時々に応じたテーマに沿った図書の展示を行い、市民への読書啓発を推進します。

2 図書館システムの充実

図書館システムの更新時にあわせて、I Cタグ等の新たな図書管理システムや、自動貸出機等の機器の導入について検討するとともに、図書館ウェブサイト内に自分専用のポータルサイトを登録して、市図書館の本の貸出に連動した読書実績の履歴や、読んだ本のランキングなどが見られる「図書館マイポータルサイト」について検討し、電算システムの充実と図書館利用者の利便性の向上を図ります。

3 コンビニエンスストアでのリクエスト本の受取り研究

市図書館でリクエストした本をコンビニエンスストアなどで受取りなどができる仕組みについて検討し、利便性を高めるとともに、図書館分室の今後のあり方を検討します。

- 基本施策 5 生涯を通じた読書活動の展開
 施策 18 図書館の機能・サービスの充実

計画事業の対象とするライフステージ						
主な計画事業	ライフステージ					
	乳幼児期	少年期	青年前期	青年後期	壮年期	高齢期
1 幅広い図書館資料の整備	○	○	○	○	○	○
2 図書館システムの充実		○	○	○	○	○
3 コンビニエンスストアでのリクエスト本の受取り研究		○	○	○	○	○

※対象とするライフステージとは、各計画事業に該当する主な年代とします。